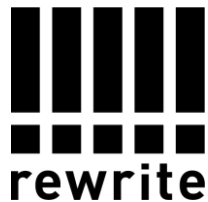


下丸子駅周辺地区グランドデザイン策定に向けた
まちづくり検討会

- 第4回 -

<ワークショップ資料>



2024年10月26日

グループごとに取り組み提言シートをまとめること （継続検討）

取り組み提言シート(案)			※一連番号(事務局使用)				
1 提言件名(内容)	2 担当分科会	3 分野内優先度	4 達成時期		5 提案実現への課題		
5 現状	6 あるべき姿 第2回 範囲	7 解決すべき課題	8 課題解決のための具体的提案				
			(1)提案事項	(2)担い手	(3)優先度	(4)目標値等	
			No	1	2	3	4
			5	6	7	8	
			9	10	11	12	
9 備考(関連する他分科会の項目等)							
			第3回、第4回 範囲				

グループごとに複数枚まとめることを目指します！

最優先 短期(5年程度)
優先 中期(10年程度)
段階的实施 長期(20年程度)

(仮称) グランドデザインの素案に盛り込みたい取り組みを言語化します！

ポイント

- ✓作成した提言シートをもとにして、取り組みを検討する。
- ✓提案する取り組みは、実施主体や取り組み期間にも言及する。

振り返り

ワークショップの下準備

- ✓ 前回のワークショップから引き続き、テーマ別にグループに分かれディスカッションをします。
- ✓ 欠席者がいる場合は、フォローアップをします。

10分
ワークショップ準備
(振り返り)

ワーク①

取り組みを提案ワークショップ (グループディスカッション)

- ✓ グループごとに作成した提言シートの枚数ごとに課題解決のための取り組みを検討します。
- ✓ 前回と同様のテーマを選択するグループは、提案の深度化、実行主体について、議論します。

20分×3ターム
ディスカッション

ワーク②

地図プロットワークショップ (グループディスカッション)

- ✓ グループごとに提案事項をどのエリアで実行するのか、ディスカッションをし、地図に落とし込みます。

25分
地図プロット

発表

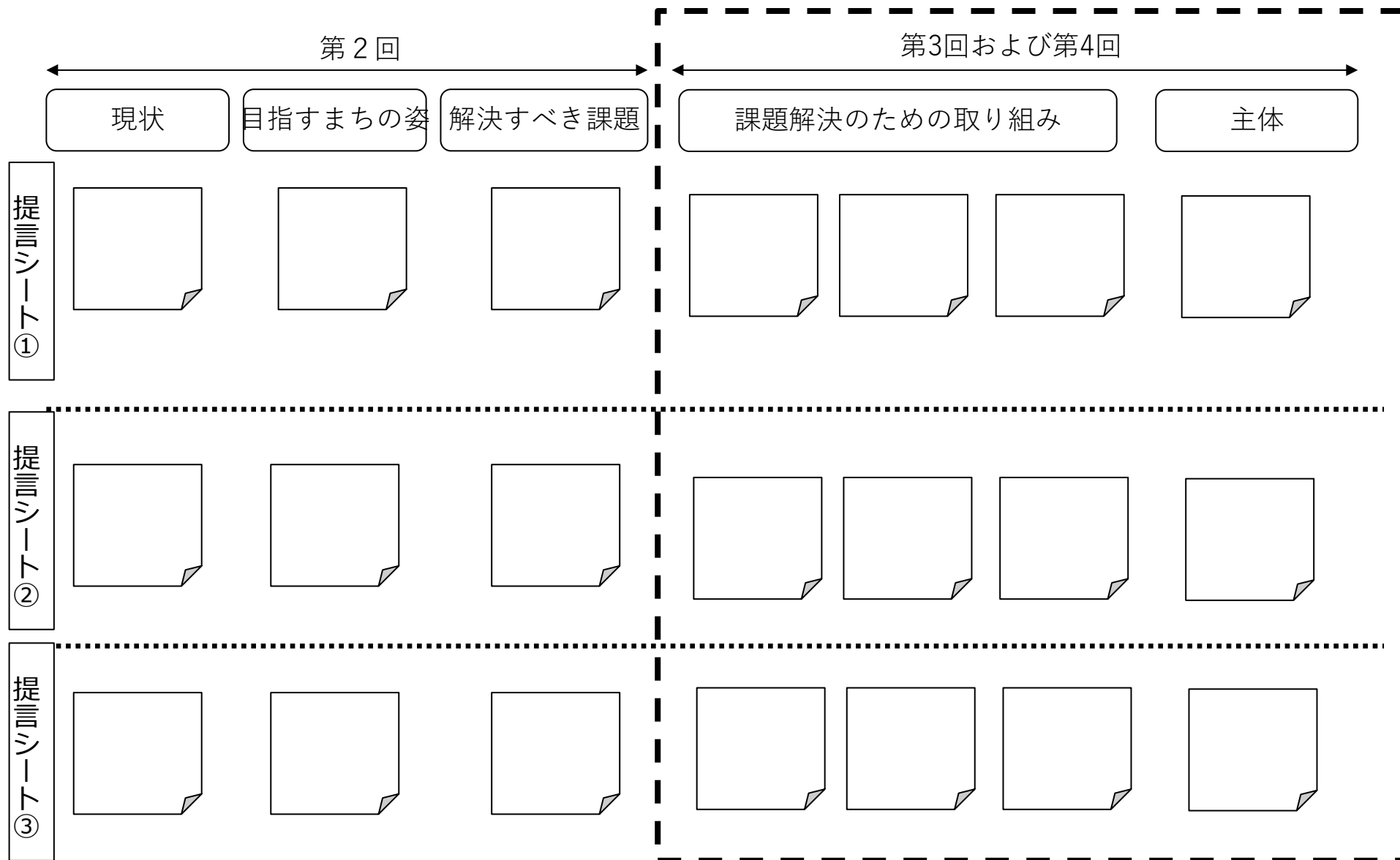
全体共有、次回に向けて。

- ✓ グループディスカッションの内容を、グループごとに発表します。(各グループ5分程度)

15分
発表準備

20分
グループテーマ発表

提言シートの枚数ごとに、課題解決の取り組みを検討し、模造紙にまとめて発表します。



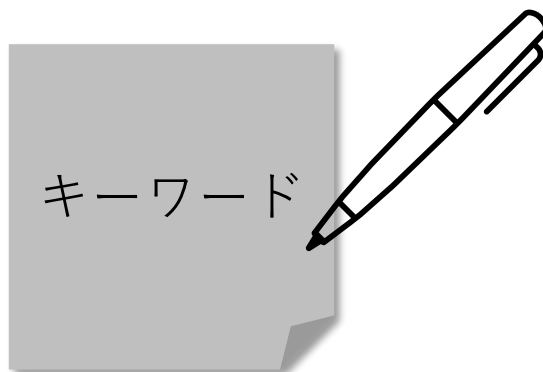
1

ファシリテーターを
1人決める



2

キーワードは付箋に
なるべく大きく書き込む
(1メッセージ、1枚)



3

話に夢中になっても
なるべく付箋に書く



自分たちでできること、
民間でできることも考える

<手順>

- ①前回のディスカッションをもとに、事務局で提言シートを再整理したものをグループへ配布。
- ②配布された提言シートごとに取り組みのアイデアを検討し、提言シートに盛り込みます。
- ③担い手、優先度、目標値、提案実現への課題など、取り組みに付随する項目も検討します。

<ポイント>

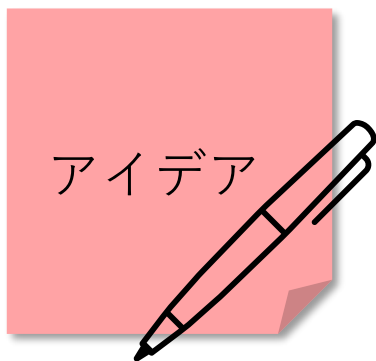
- ★目指すまちの姿を実現するための小さな取り組みを言語化していきます。
- ★実現可能性が低い提案については、細分化することで、実現できることがないか考えてみましょう。

STEP1

提案のアイデアを考える

STEP2

提言シートに盛り込む

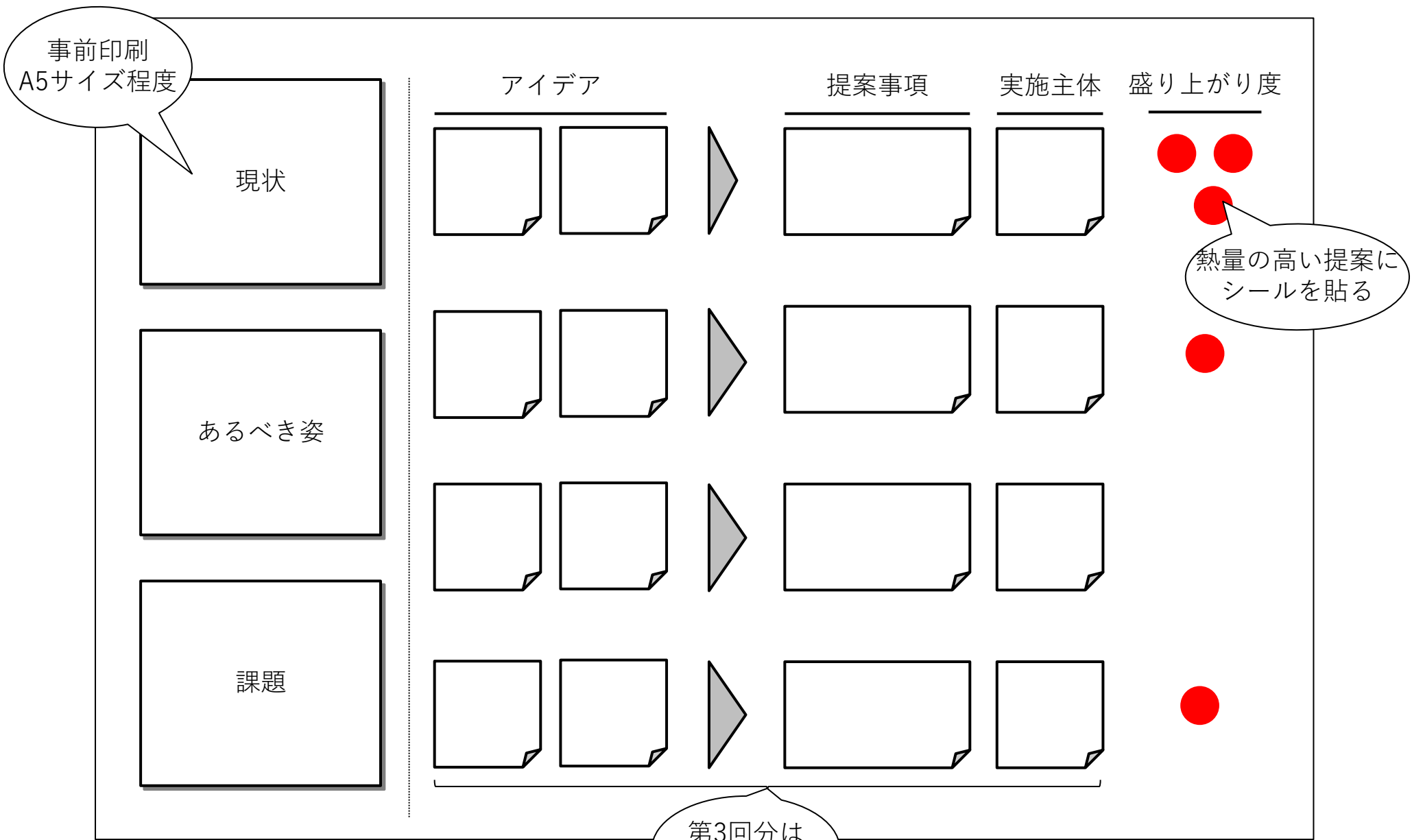


取り組み提言シート(案)		第一議題中(課題解決策)			
1 提案内容(内容)	2 担い手(担当者)	3 優先度	4 目標値	5 実現時期	6 実現に向けた課題
	(1) 担い手	(2) 優先度	(3) 目標値	(4) 実現時期	(5) 実現に向けた課題
0 提案	1				
	2				
0 提案	3				
	4				
7 提案	5				
	6				



提言シート
3~6テーマ

※前回の続き



<手順>

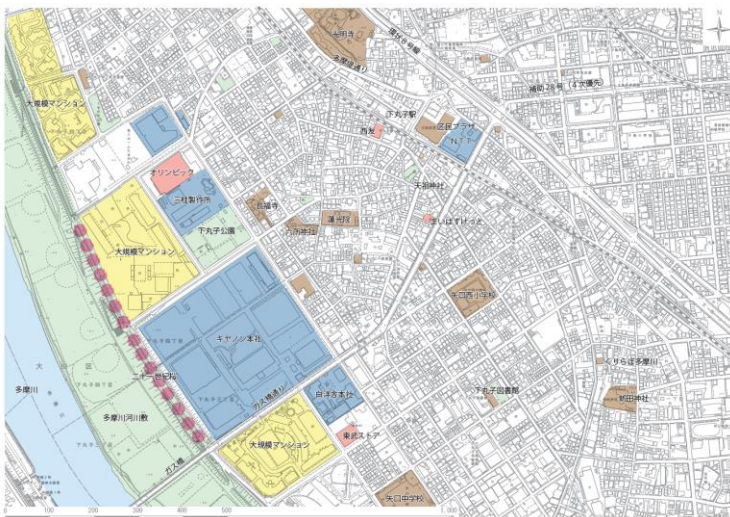
- ①事務局で用意した下丸子駅周辺の地図を各グループへ配布。
- ②これまでのディスカッションで出た、取り組みの提案事項を地図に落とし込みます。

<ポイント>

- ★取り組みの提案事項と具体的な場所・エリアを結びつける作業を行います。
- ★地図にたくさん書き込みをして、グループで出た提案を整理してみましょう。

STEP1

取り組みの重点エリアを考える



STEP2

地図に書き込む

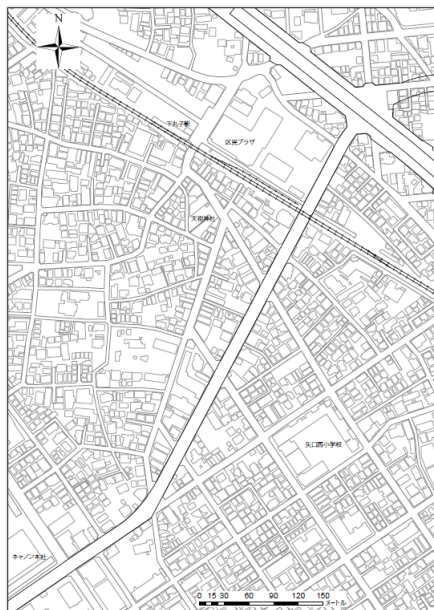




現況下丸子駅周辺
(グループ：A・C)



商店街
(グループ：B・C)



ガス橋通り
(グループ：D)



多摩川周辺
(グループ：C・D)

<参考> 取り組み提言シート

取り組み提言シート(案)					※一連番号(事務局使用)				
1 提言件名(内容)		2 担当分科会		3 分野内優先度		4 達成時期			
5 現状		8 課題解決のための 具体的提案	No	(1)提案事項	(2)担い手	(3)優先度	(4)目標値等	(5)提案実現への課題	
			1						
			2						
			3						
			4						
6 あるべき姿									
7 解決すべき課題									
9 備考(関連する他分科会の項目等)									

最優先 短期(5年程度)
 優先 中期(10年程度)
 段階的实施 長期(20年程度)

グループワーク A

「街路を考える」

地区内の街路のあり方について
考えましょう。

【例えば】

- ・多摩川線の踏切遮断による南北の通行やまちの分断などの課題はないか。
- ・目的地に向かうのに不便を感じていないか。
- ・クルマと自転車、歩行者間の通行に支障はないか。
- ・通行だけでない街路の利活用は望まれているか。
- ・舗装など、街路の設備は満足できるか。
- ・段差や障害物などで困っている人がいないか。
- ・災害時の避難などで街路の数や幅員に不足はないか。

グループワーク B

「商店街の活用や新たな産業を考える」

商店街でできることや
新たな産業について考えてみましょう。

【例えば】

- ・商店街を活用した賑わいの取組みとしてどのようなことができそうか。
- ・地域のものづくりの技術を継承する取組みができないか。
- ・使われていない建築物や施設を活用した取組みが考えられないか。
- ・新たな起業・育成(インキュベーション) 拠点をつくり、多様なチャレンジを支援できないか。
- ・まちに新たな価値を生み出す新たなサービスやビジネスモデルが提案できないか。

グループワーク C

「オープンスペースの活用を考える」

公園や広場などの
公共空間について考えましょう。

【例えば】

- ・公園や広場などのスペースは足りているか。
- ・地域のコミュニティの形成の場になっているか。
- ・使われ方は望ましいものになっているか。
- ・利用にあたって望みたいものはないか。
- ・景観・デザイン上工夫する必要がないか。
- ・新たにどのような機能があると良いか。
- ・駅前に広場などの配置は望まれるものか。
- ・災害対応の観点から望まれるものはないか。

グループワーク D

「地域資源の活用、景観づくりを考える」

多摩川や地区の歴史・文化資源、
景観について考えましょう。

【例えば】

- ・多摩川河川敷の環境や利活用状況はどうか。
- ・利用するにあたっての改善点はないか。
- ・多摩川の新たな活用の考え方はあるか。
- ・スポーツ・レクの場として機能が充実しているか。
- ・地域の歴史・文化資源をもっと活用できないか。
- ・活用できるとすればどのような取組ができるか。
- ・地区全体の景観は望ましいものか。
- ・改善事項と改善するために何ができるか。